

RECOMM

レカム株式会社
JASDAQ (3323)
2017年11月25日

2017年9月期 決算説明資料

RECOMM

2017年9月期 実績

グループ連結

連結業績・前年比較

	連結実績 (単位：百万円)	対前期比		連結実績 (単位：百万円)	対前期比
売上高	5,139	116.2%	経常利益	258	264.7%
営業利益	292	235.3%	当期純利益	140	259.0%

過去最高益を達成！

- 3期連続の増収
- 利益率が高い海外事業の売上比率が増加したことにより、売上総利益率が前期27.1%から29.8%に向上。その結果、営業利益は前期比約2.3倍で設立以来の最高益を達成。
- 経常利益・当期純利益も前期比約2.6倍で上場来最高益。

連結業績・業績予想比較

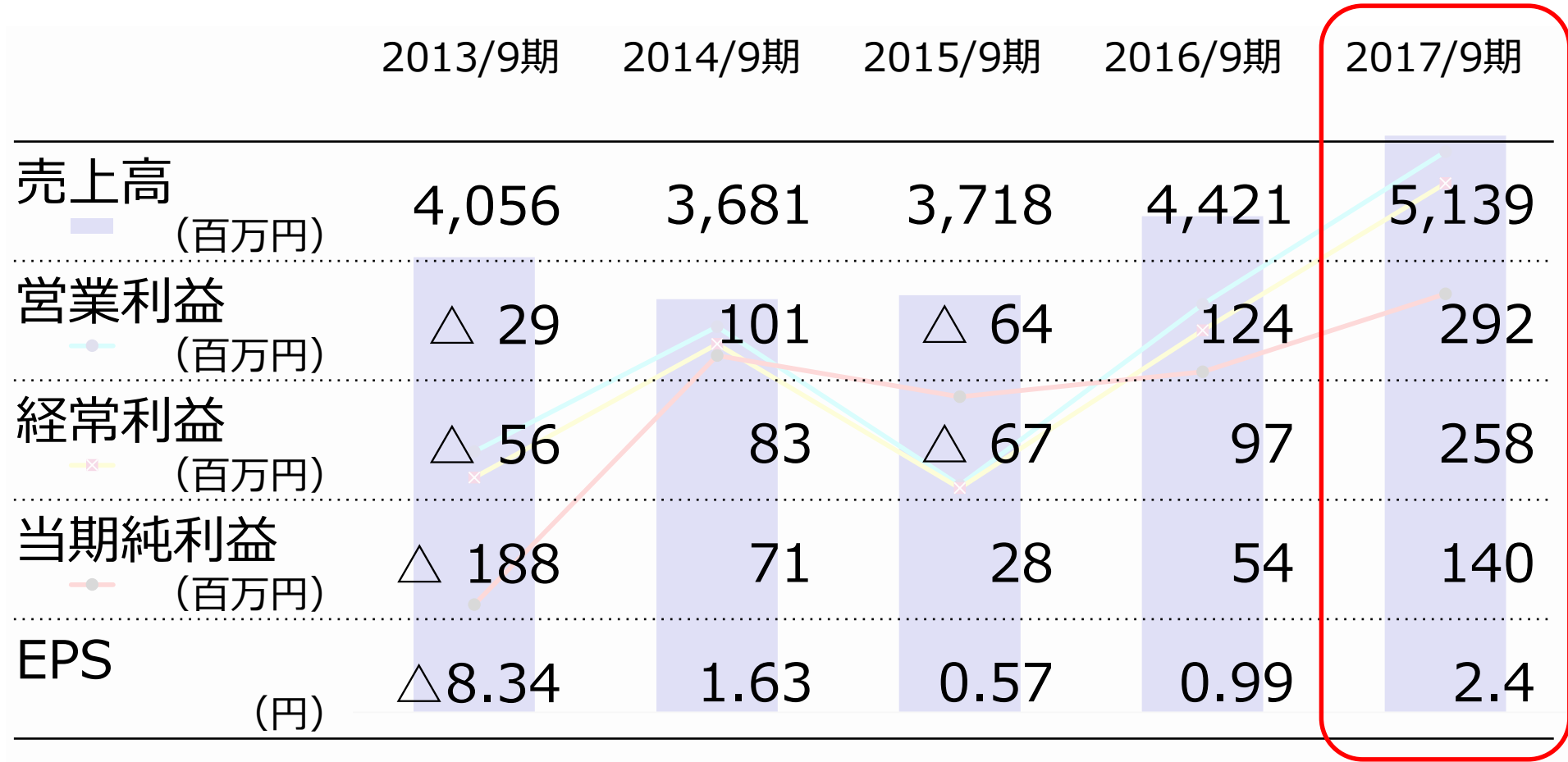
	連結実績 (単位：百万円)	業績予想 (単位：百万円)	差異率
売上高	5,139	5,650	91.0%
営業利益	292	300	97.3%
経常利益	258	300	86.0%
当期純利益	140	190	73.7%

売上高は予想を下回ったものの、利益率の向上により、営業利益は概ね予想通りに着地

経常利益は、大連子会社の上場準備を本格的に開始したため、その費用が営業外費用として発生した。

当期純利益は、上記に加えて、100%子会社でない連結子会社の税引前利益の割合が増加したこと、優遇税制適用外の会社の税引前利益の割合が増加したことにより、予想を下回る。

再成長戦略は着実に進捗



※ 2014年3月31日に普通株式を1株につき100株の割合で分割しており、EPSは分割後の株数を基に調整しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016/9期末	2017/9期末	増減額
流動資産	2,016	2,581	+ 565
固定資産	585	576	▲9
繰延資産		3	+3
資産合計	2,602	3,161	+ 559
流動負債	894	1,225	+ 330
固定負債	197	178	▲ 19
負債合計	1,091	1,403	+ 312
純資産合計	1,510	1,758	+ 248
負債純資産合計	2,602	3,161	+ 559
自己資本比率	54.6%	51.8%	▲2.8p

主な増減内容

【総資産】

3,161百万円 (+ 559百万円)

- ・ 現預金が327百万円、有価証券類が114百万円、売掛金が58百万円、それぞれ増加したことが主な要因

【負債】

1,403百万円 (+ 312百万円)

- ・ 買掛金141百万円、借入金48百万円、複合機・ビジネスホン販売時の引当金が36百万円の増加したことが主な要因

【純資産】

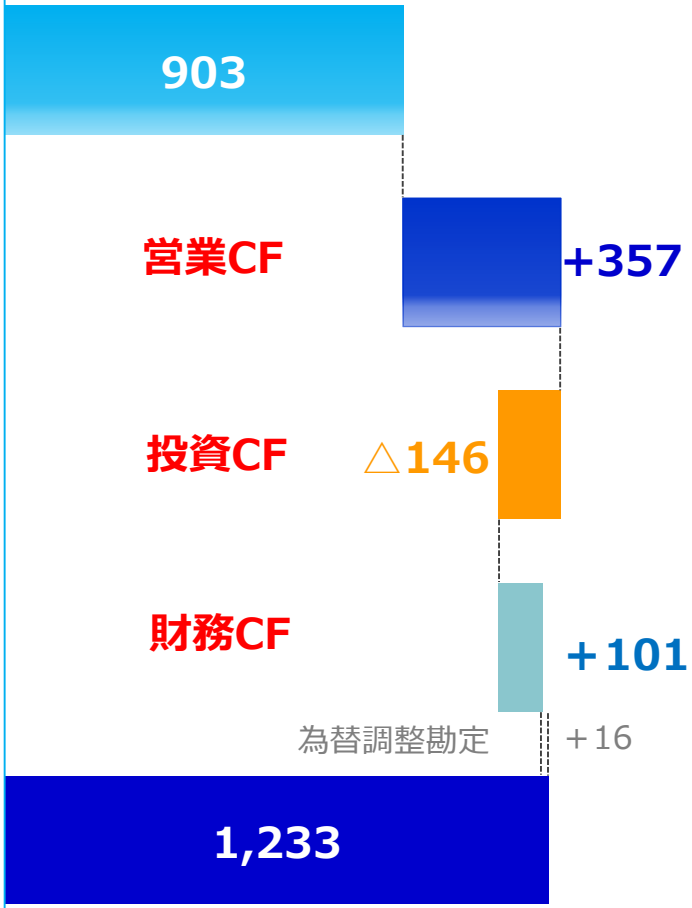
1,758百万円 (+ 248百万円)

- ・ 新株発行及び新株予約権の行使158百万円、当期純利益140百万円の計上による増加及び配当の支払56百万円による減少が主な要因

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

2016/9期末
現金及び
現金同等物
残高



2017/9期末
現金及び
現金同等物
残高

営業CF

357百万円 (前年度は+241百万円)

- 税引前利益 + 減価償却費 + のれん償却費が321百万円となったことなど。

投資CF

△146百万円 (前年度は△89百万円)

- 有価証券類の取得に114百万円と、有形固定資産の取得に23百万円を使用したことなど。

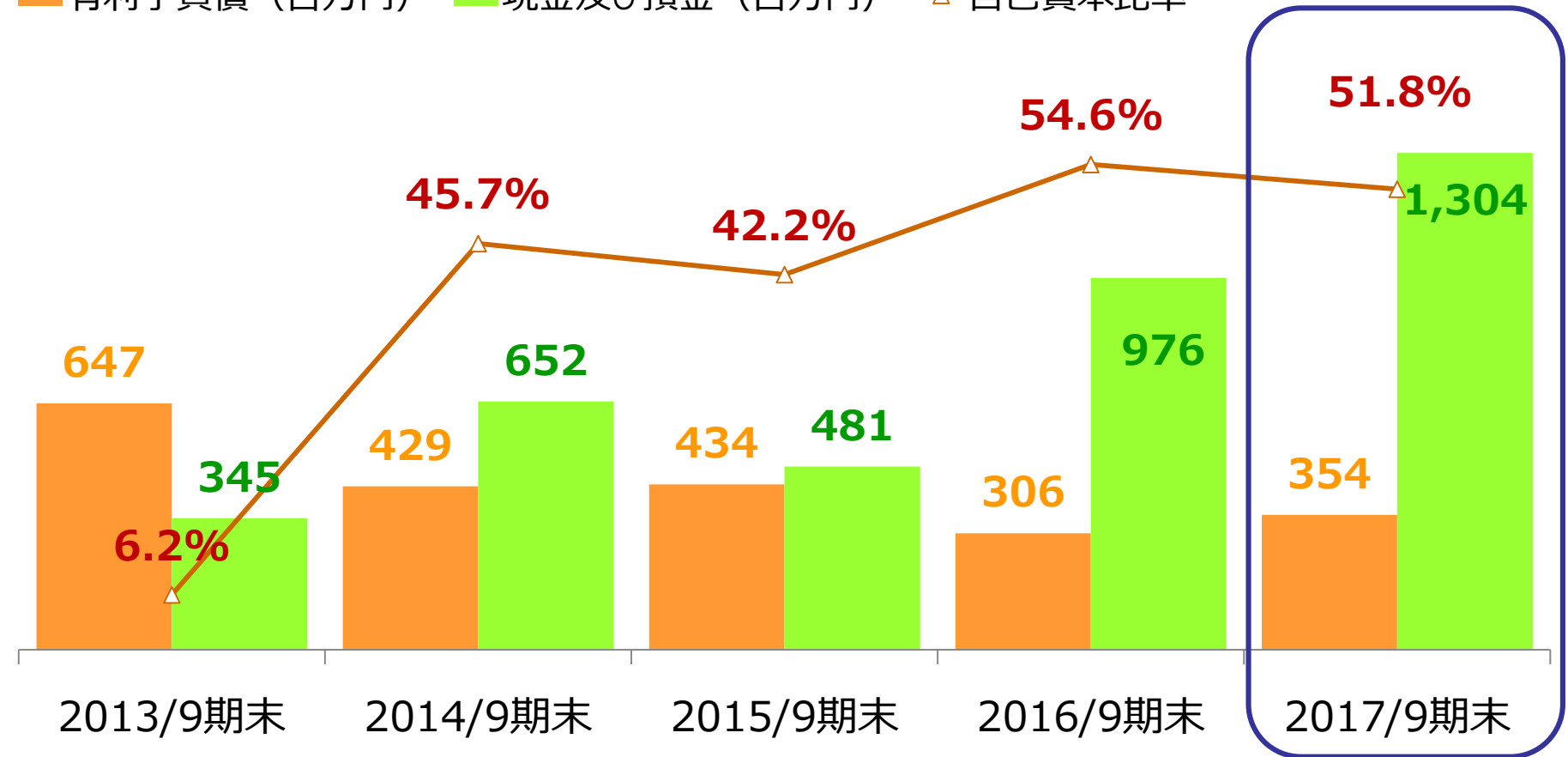
財務C/F

101百万円 (前年度は+373百万円)

- 資金調達による入金で156百万円を獲得、子会社株式の追加取得で48百万円を使用したことなど。

財務の状況

■有利子負債（百万円） ■現金及び預金（百万円） ▲自己資本比率



自己資本比率は引き続き50%以上を維持

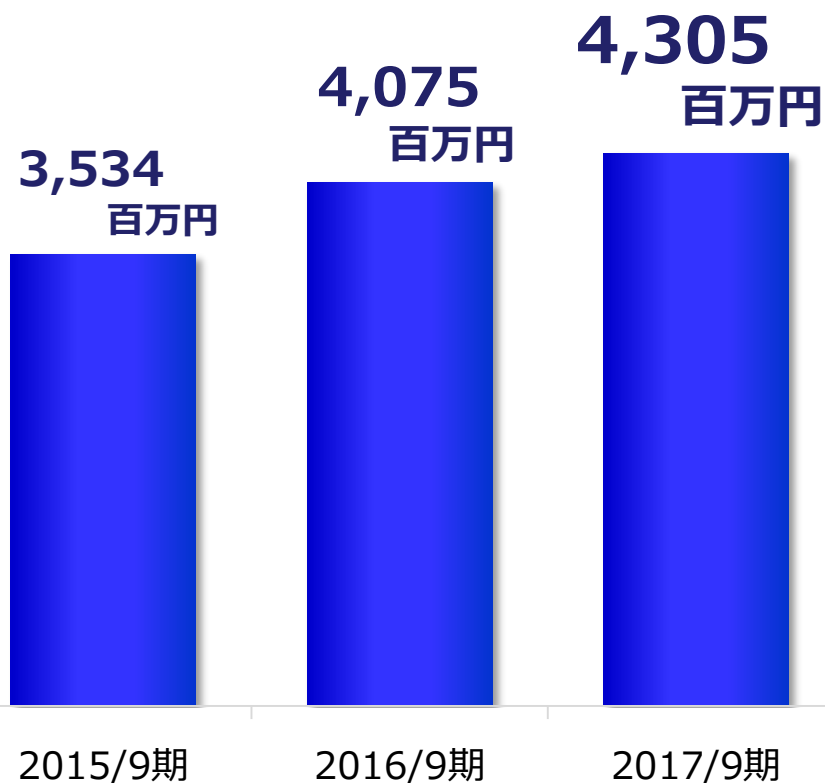
過去最高水準になったキャッシュはM&AやIT投資に充当する予定 【8】

RECOMM

2017年9月期 実績

情報通信事業

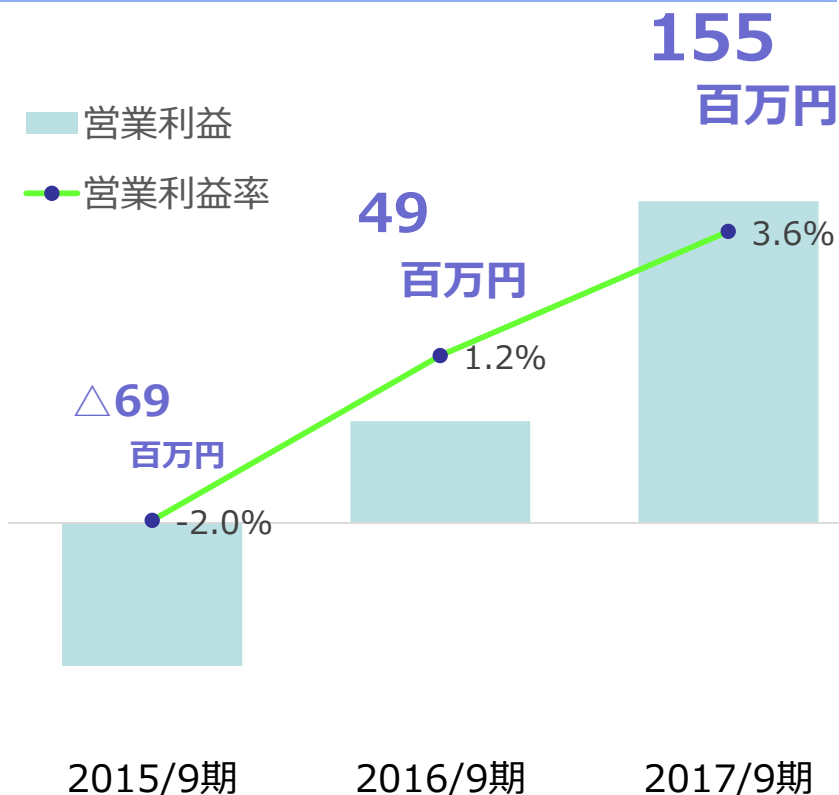
売上高



前期比 105.6%

- 2期連続の増収。
- 販売チャンネルでは加盟店が、商品別ではUTMが事業全体の売上を牽引

セグメント利益

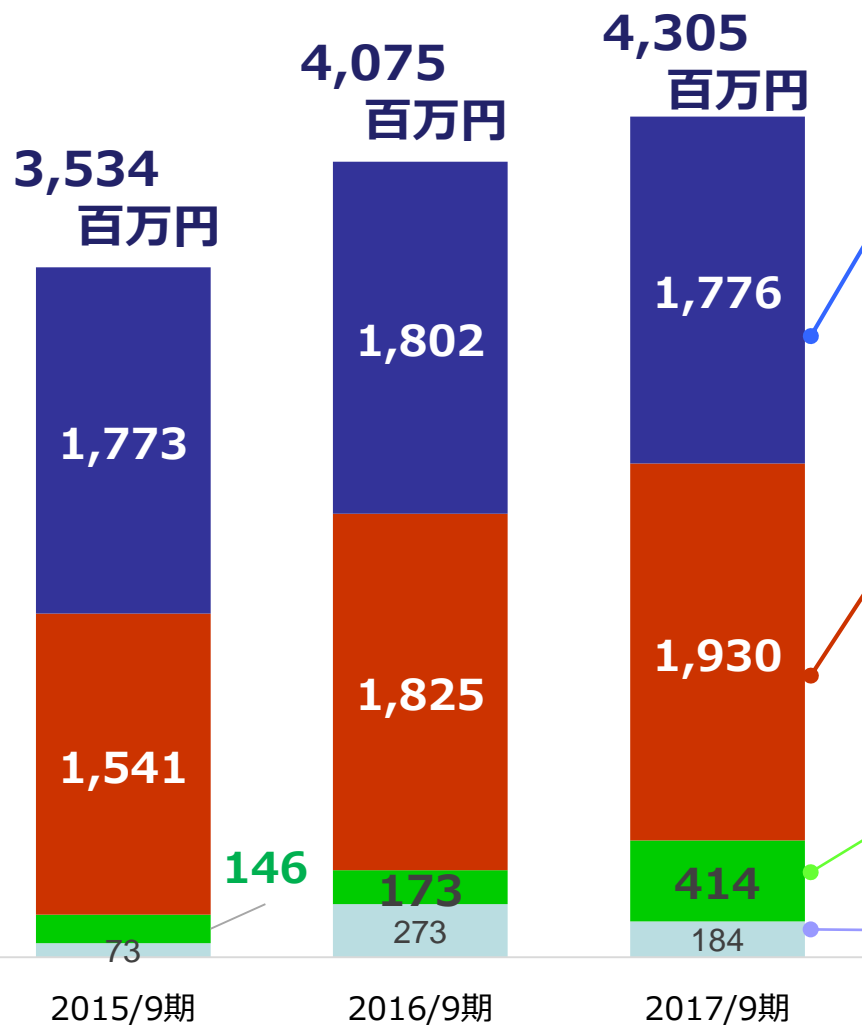


前期比 約3.1倍

- 直営チャンネルで営業社員が減少するも1人あたり売上高が増加したため、利益は向上。
- 利益率が高い電力小売事業が成長。

チャンネル別売上高

(単位：百万円)



直営店：1,776百万円
前期比98.6%

海外法人事業強化のため同チャンネルに営業社員を配置したため減収。ただし、営業1人当たり売上高は123.4%と大きく生産性は向上

加盟店：1,930百万円
前期比105.7%

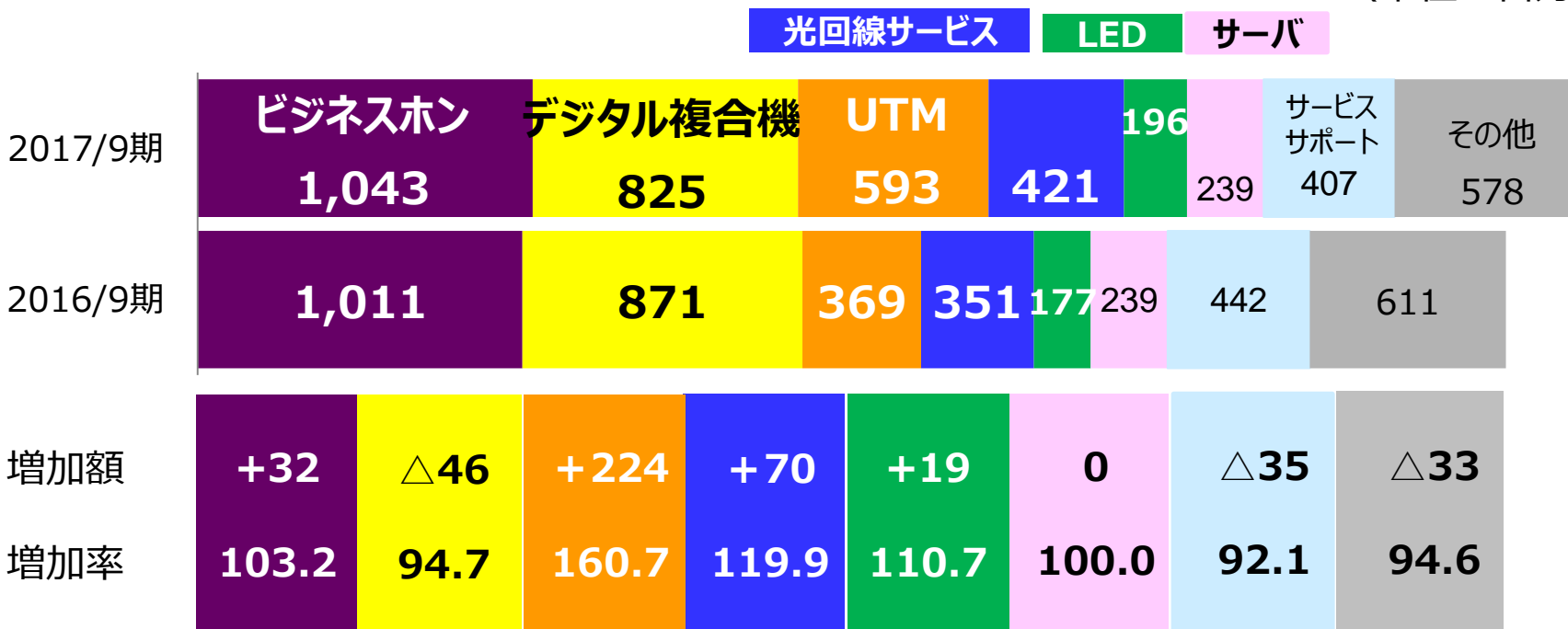
加盟店1店舗あたりの売上高向上に注力することにより3期連続の増収

グループ会社
インターネットセキュリティ機器卸販売事業、電力小売事業が成長

代理店

商品別売上高

(単位：百万円)



ビジネスホン

買替え需要の取り込みが
順調

UTM

独自の無料セキュリティ診
断サービスや卸売事業によ
り大幅に増加

光回線サービス

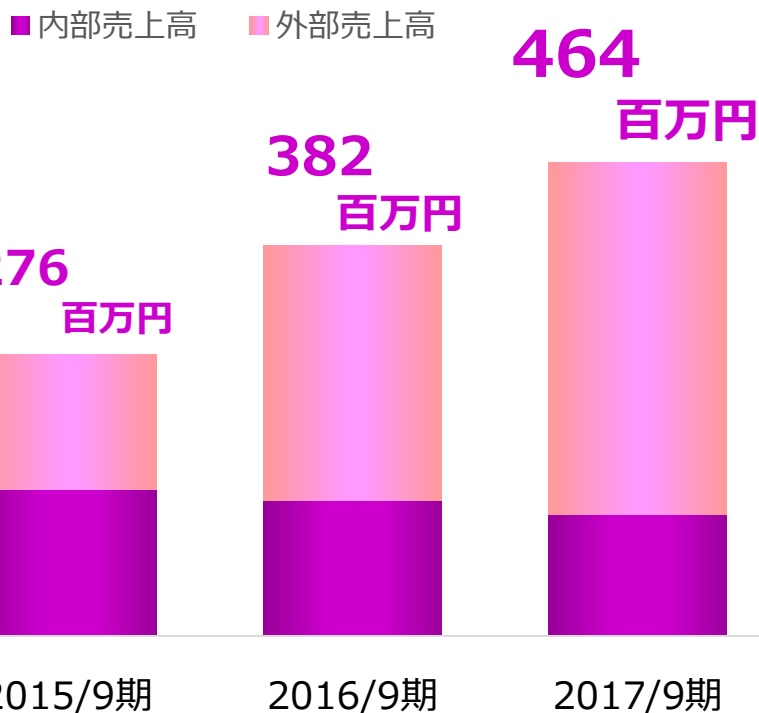
「Ret'sひかり」の売上高が
年間で4億円超

RECOMM

2017年9月期 実績

BPO事業

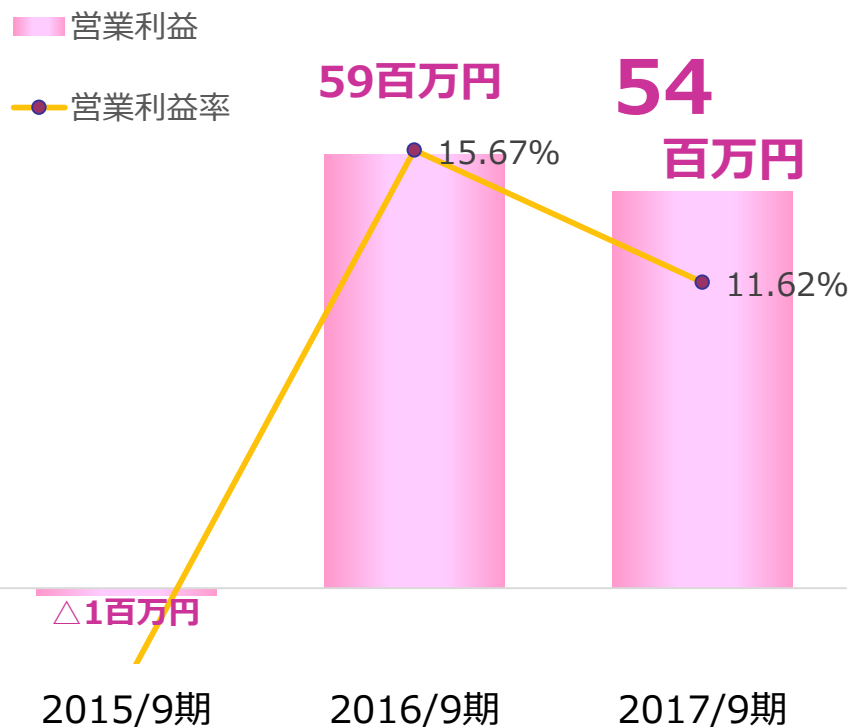
売上高



前期比 121.5%

- ◎ 外部受託売上高が大幅に増加（約1.4倍）
- 事業全体に対する外部売上の比率は74.6%に達する。

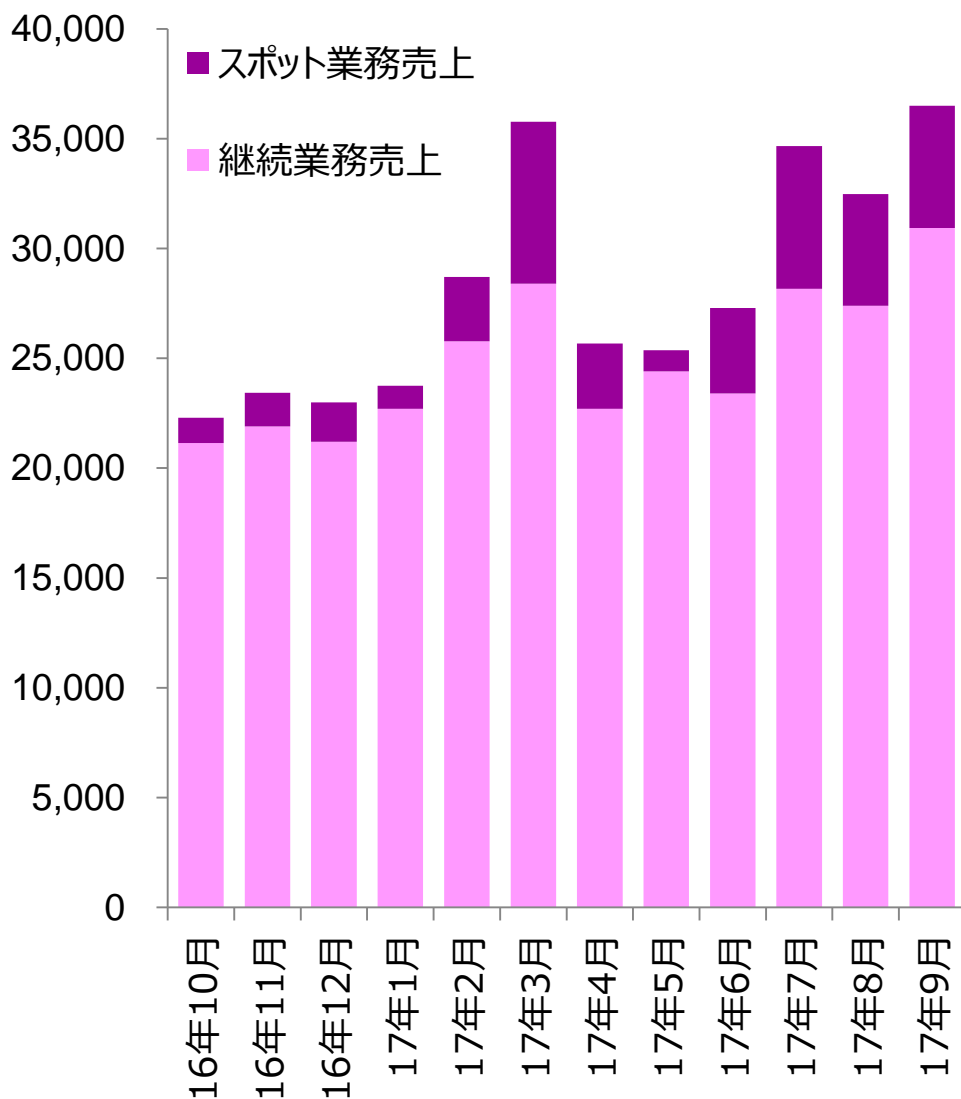
セグメント利益



前期比 90.2%

- × 為替が円安傾向だった影響もあり、日本円換算時のコストが増加したため減益。

(単位：千円)



外部受託継続業務売上が増加

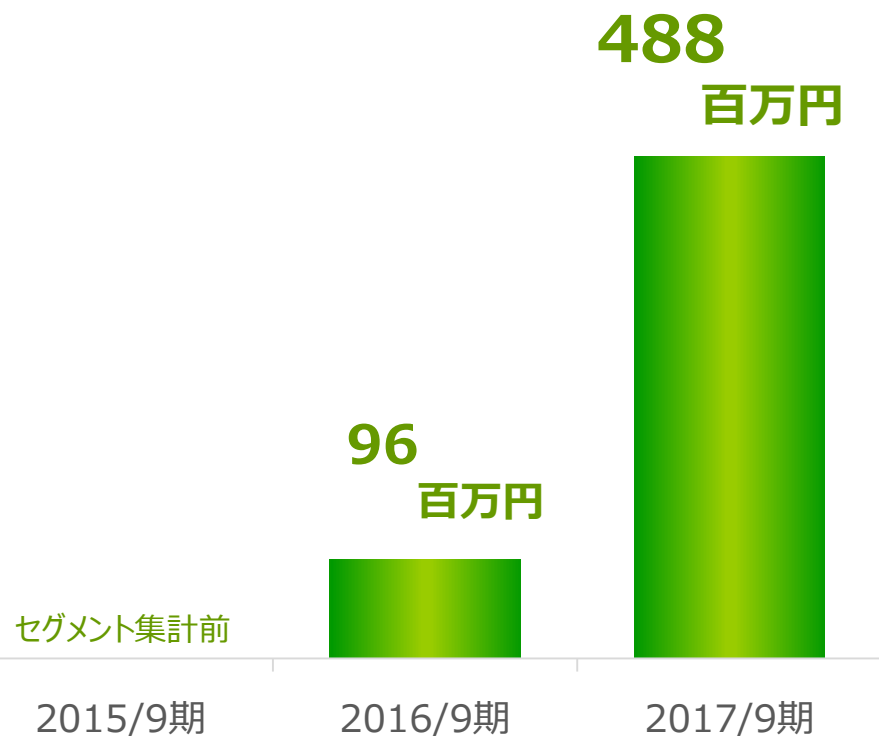
- 継続業務売上の**対前期比は106.6%**。継続業務売上高が増加することで、**収益が一層安定化**。
- 既存顧客からの追加業務や紹介による獲得が中心のため、今後も安定した収益が見込める。

RECOMM

2017年9月期 実績

海外法人事業

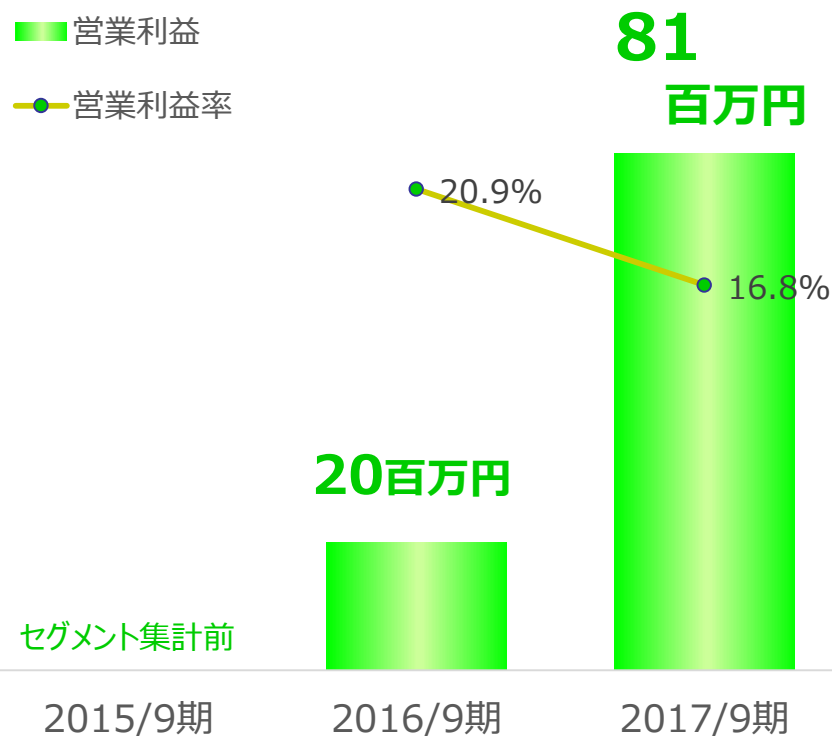
売上高



前期比 約 **5** 倍

- ◎ 中国・上海を中心に期初より営業12名体制に増員したこと等により売上が増加。
- 2017年8月にはベトナム・ホーチミン市でも営業を開始。

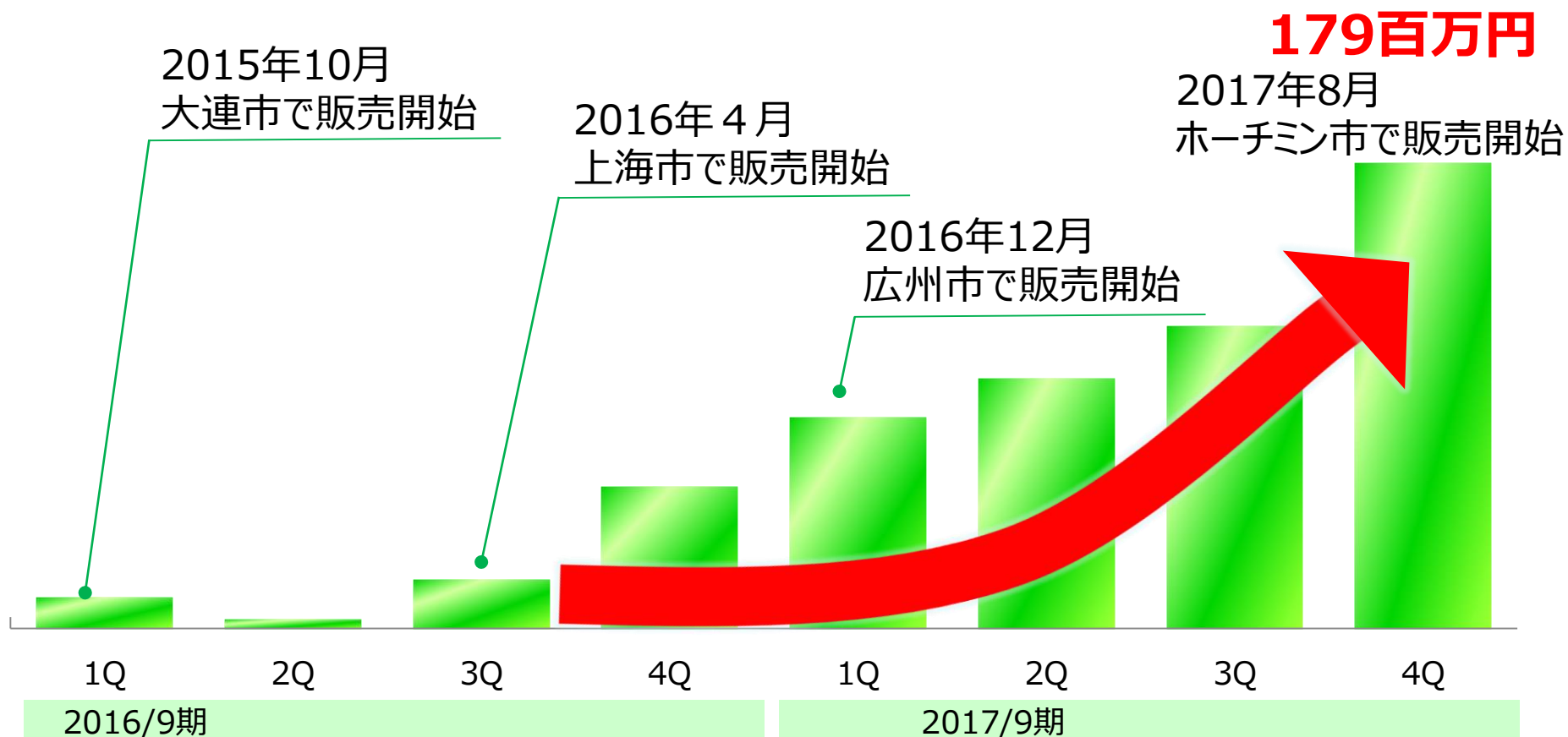
セグメント利益



前期比 約 **4** 倍

- ◎ 大幅な増収により、増員および新規出店コストを吸収し、利益が大幅に増加。

LED照明四半期売上高の推移



- 製造業を中心とした日系企業に対して、電力料金削減のソリューション営業を展開。
- 次々に拠点を開設しながら売上を急速に拡大中

RECOMM

2017年9月期 グループトピックス

2017年2月1日より持株会社体制に移行



情報通信事業



レカムジャパン株式会社

ENERGY PARTNER

レカムエナジーパートナー株式会社



株式会社コスモ情報機器



オーパス株式会社



ヴィーナステックジャパン株式会社

BPO事業



レカムBPO株式会社



レカムビジネスソリューションズ（大連）
株式会社



レカムビジネスソリューションズ（長春）
有限公司



レカムビジネスソリューションズ（上海）
有限公司



ミャンマーレカム株式会社

海外法人事業



レカムビジネスソリューションズ（大連）
株式会社有限公司



ベトナムレカム有限会社
(2017年8月～)

各事業会社への権限移譲と採算性の追求を推進することにより、

営業利益率が向上（計画：5.3% 実績：5.7%）

中国での事業拡大

2016年12月

上海誠予信息技术有限公司を子会社化

同時にレカムビジネスソリューションズ（上海）有限公司に

社名を変更

商号	レカムビジネスソリューションズ（上海）有限公司
資本金	805 千米ドル
法定代表者	甲藤 将幸
所在地	中華人民共和国上海市長寧区仙霞路317号
設立	2007 年 7 月
主な事業内容	B P O 事業

2016年12月

広州市にLED照明販売事業の拠点を開設



レカムビジネスソリューションズ（大連） 株式会社有限公司

2017年6月

- 「株式会社化」が中国当局より承認され、「レカムビジネスソリューションズ（大連） 株式会社有限公司」に社名変更

⇒中国国内新興市場への上場準備を推進中

- 大連市人民政府中国サービス貿易協会より、中国ソフトウェア・情報サービス業界ベスト影響力賞受賞

⇒3年連続の受賞

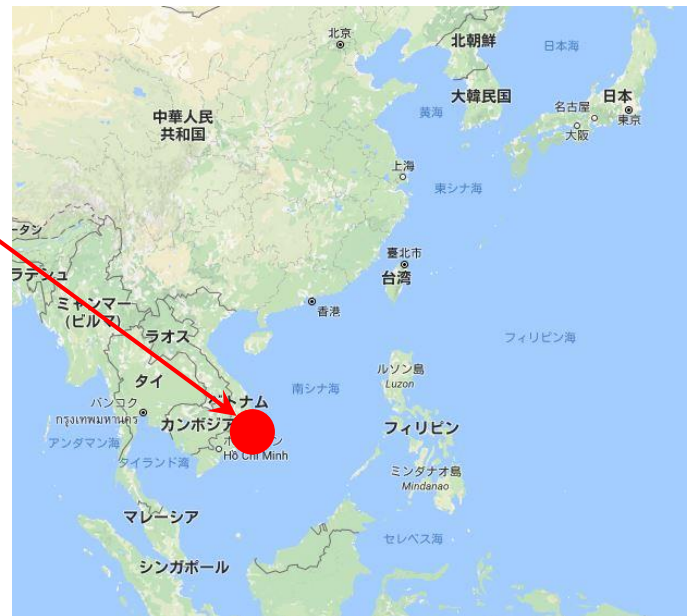


A S E A N地域へのLED販売事業の進出

2017年8月

- ベトナムに進出し、A S E A N地域でのLED照明販売を開始

- | | |
|---------|---|
| (1) 商号 | Vietnam Recomm CO.,LTD |
| (2) 所在地 | Floor 12A, 72 Le Thanh Ton St. and 45A Ly Tu Trong St., Ben Nghe ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam. |
| (3) 代表者 | 伊藤 秀博 (当社 代表取締役社長) |
| (4) 資本金 | 447,000USドル (約5,000万円) |



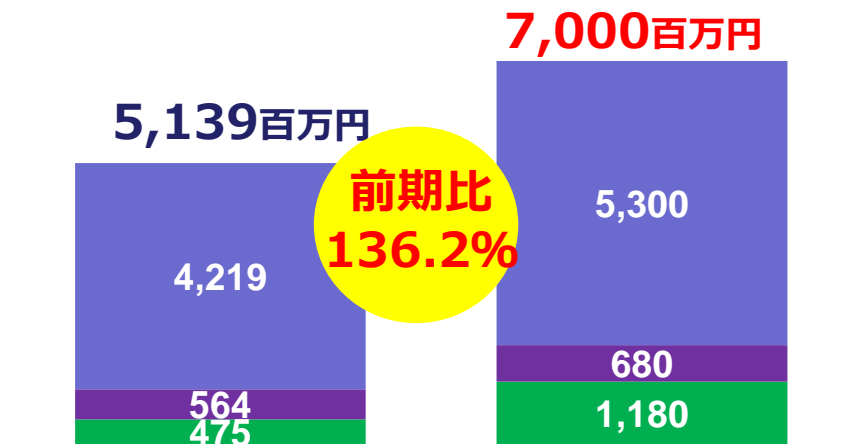
RECOMM

2018年9月期 通期業績予想

グループ連結

売上高

■ 情報通信事業 ■ BPO事業 ■ 海外法人事業



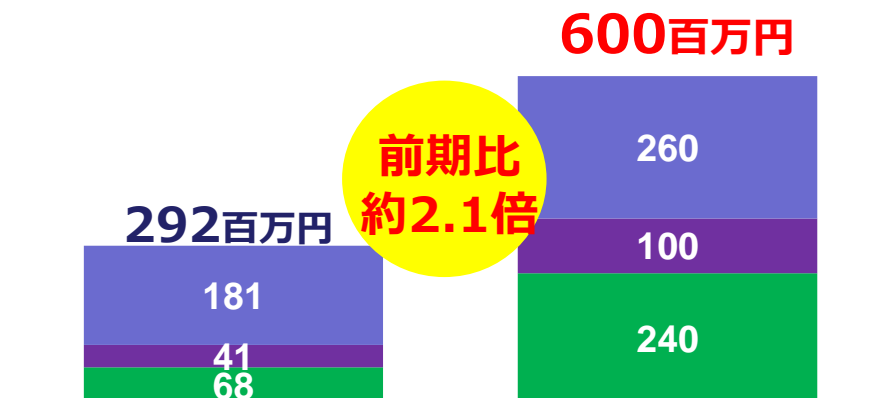
2017/9期 実績

2018/9期 予想

※連結消去：2017/9期△119百万円、2017/9期△160百万円が別途あり

営業利益

■ 情報通信事業 ■ BPO事業 ■ 海外法人事業



2017/9期 実績

2018/9期 予想

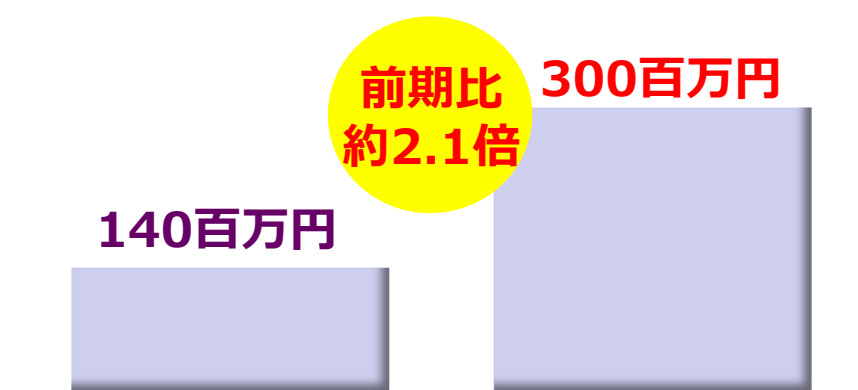
経常利益



2017/9期 実績

2018/9期 予想

当期純利益



2017/9期 実績

2018/9期 予想

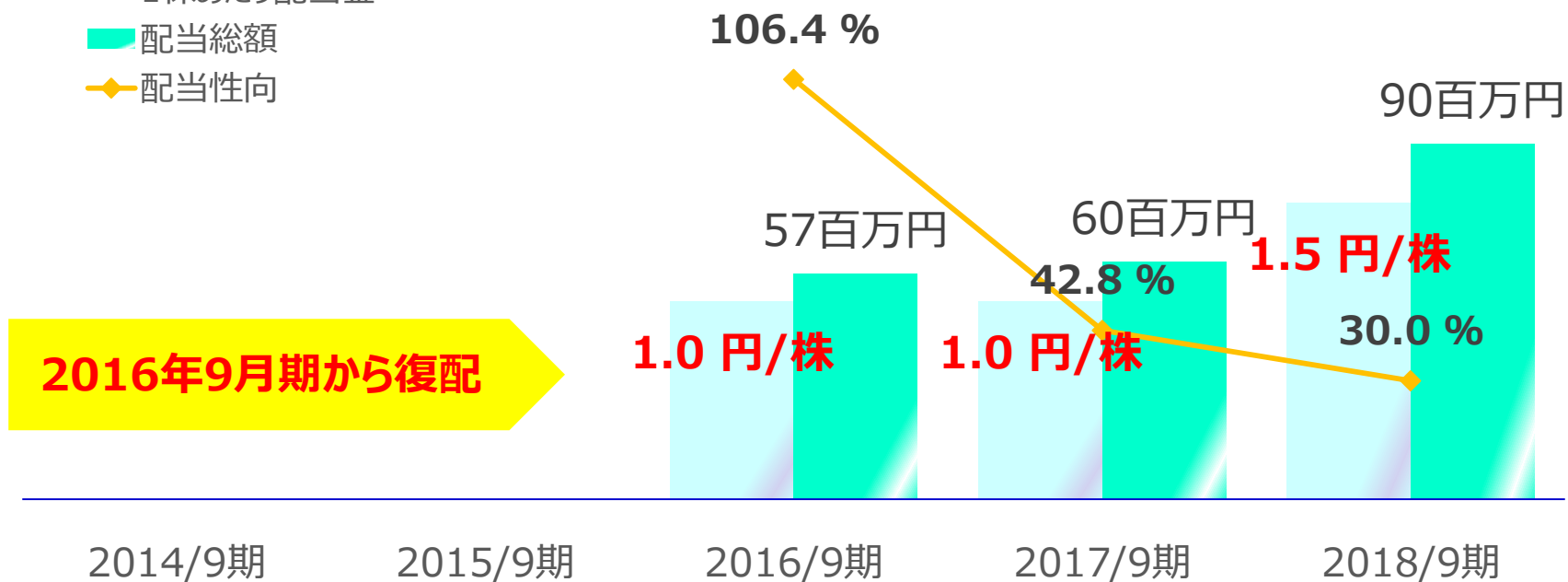
◆2018年9月期配当予想

1.5円/株（前期比+0.5円/株）

◆基本方針

配当性向30%（配当金総額 = 連結当期純利益 × 30%）

- 1株あたり配当金
- 配当総額
- 配当性向



RECOMM

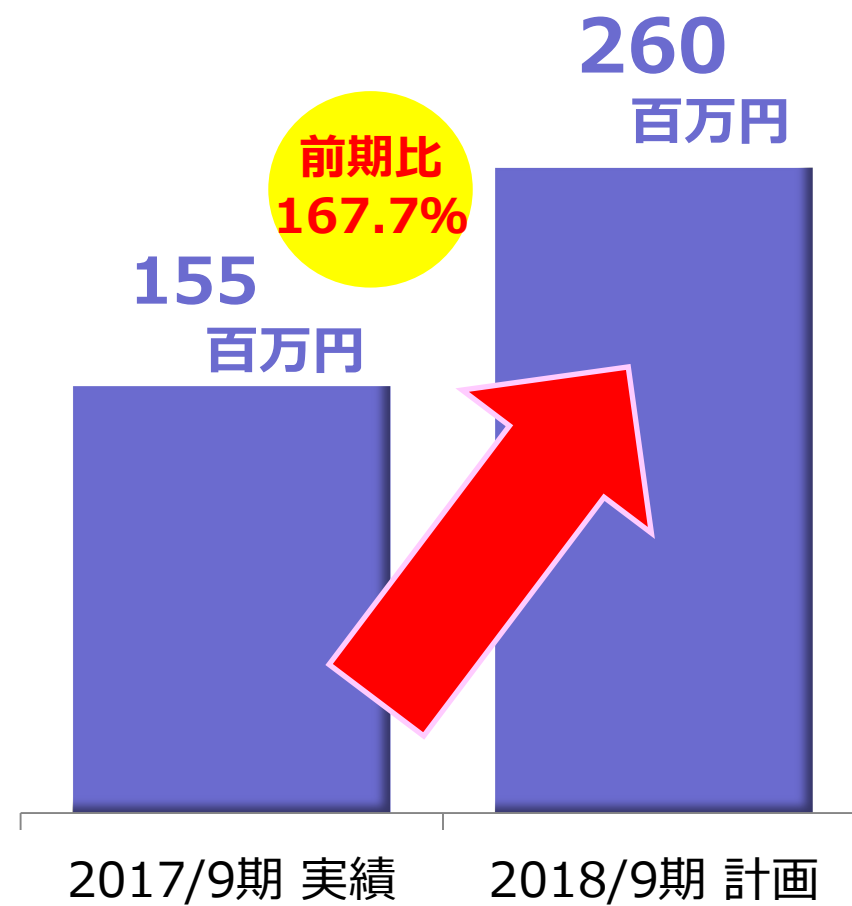
2018年9月期 通期業績予想

情報通信事業

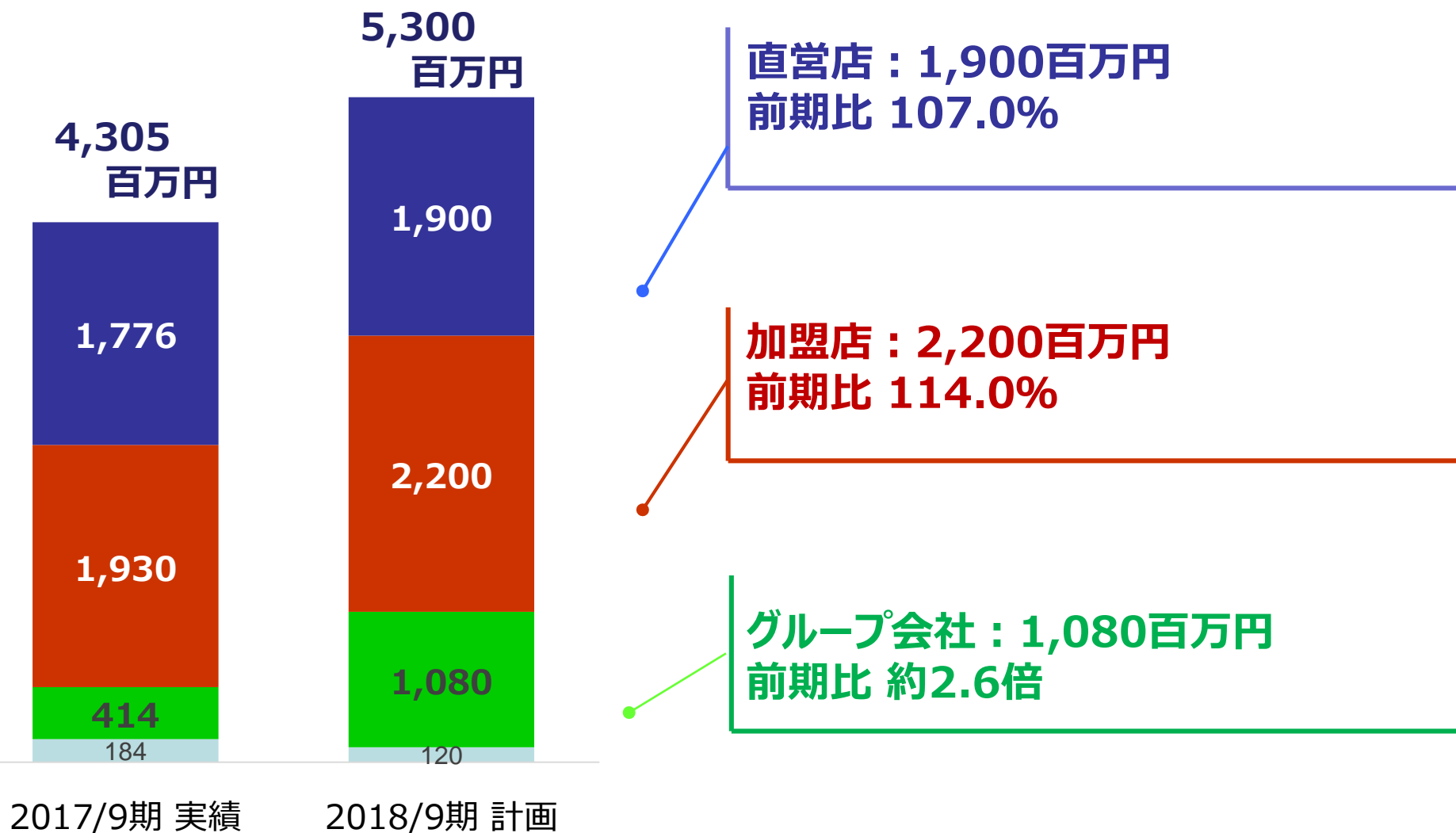
売上高



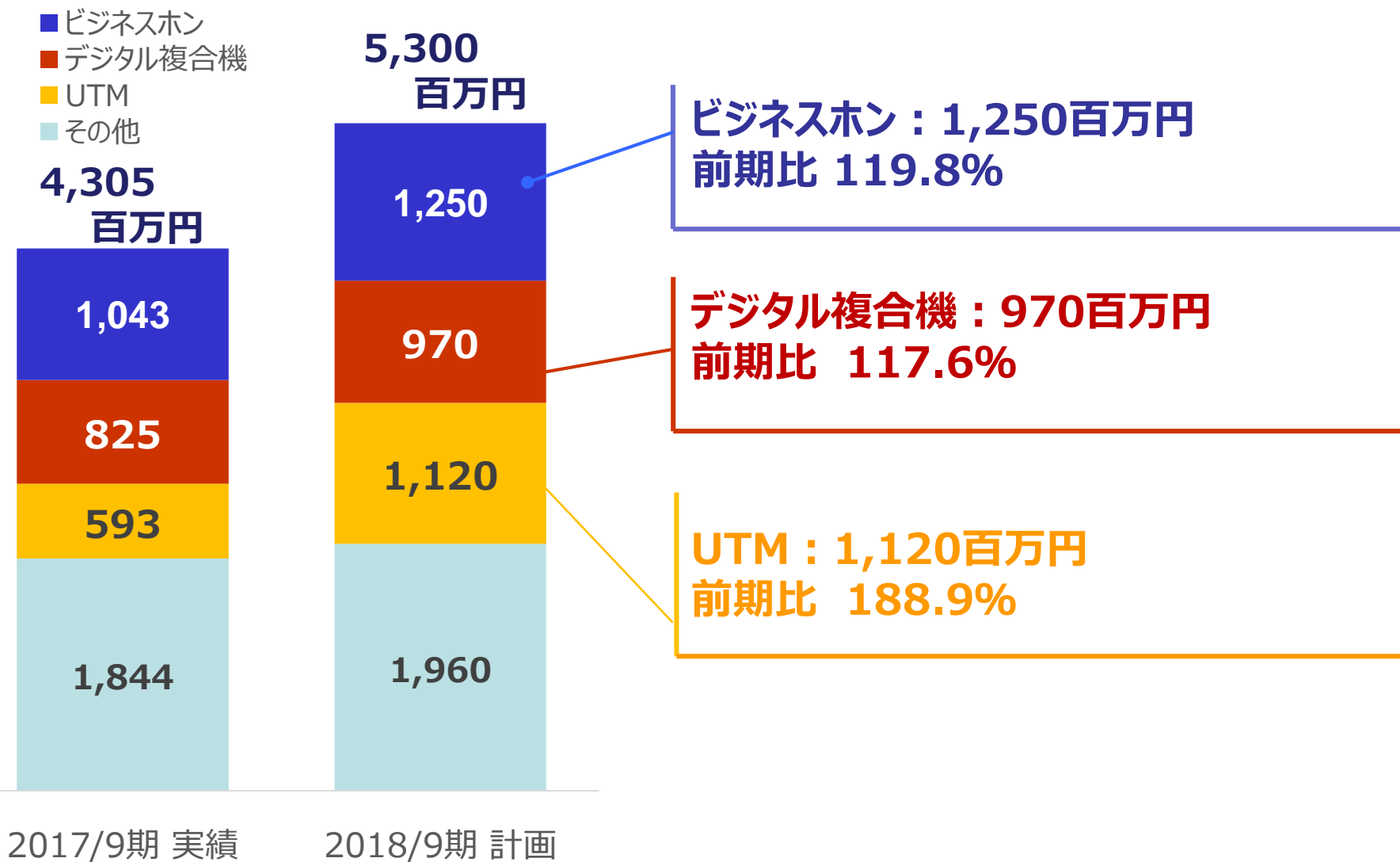
セグメント利益



情報通信事業チャンネル別計画



情報通信事業・主要商品別計画



情報通信事業戦略 ①直営店強化

(1) 営業人員採用・定着の強化

- 期首営業人員48名から期末営業人員62名に増員を計画
- 前期に導入した19時退社徹底などの「働き方改革」や報酬制度改革により、定着率とモチベーションの向上を図る。



(2) 高単価商材の取り組み

- サーバー、NWカメラなどの高単価商材の販売強化により、利益率を高めるとともに、保守サポートまで請け負えるワンストップサービスを提供できる強みにより、顧客あたり売上高の最大化を目指す。



情報通信事業戦略 ②ビジネスホン販売強化

— ビジネスホン&光回線サービス新セットプラン —



- ✓ ビジネスホン販売と自社光回線サービスをセットにすることにより、機器リース料金増加分を通信費で吸収することができ、トータルコストを削減できるプランで拡販

イメージ

・導入前

リース料金	12,000円
インターネット料金	5,000円
通話料金	15,000円
合計	32,000円

・導入後

リース料金	15,000円
インターネット料金・通話料金	14,000円
合計	29,000円

情報通信事業戦略 ③ デジタル複合機販売

— 当社独自サービス「RET'S COPY」 —



- ✓ 他社にない独自サービスで、メインターゲットである中小企業向けサービスとして競争優位性を発揮。
- ✓ 販売数量増加に伴い、機器本体およびトナー仕入価格が下がり、より営業がしやすいサービスに。

営業社員の増員により、販売数量の拡大を目指す。

情報通信事業戦略 ④ UTM販売

— インタネットセキュリティ機器卸販売 —

(1) OEM供給サービス

- セキュリティパッケージ商品のOEM供給サービスを開始。営業支援ができる強みを活かして、販売数量の増大を計画。

(2) 新商品・サービスリリース

- 多様な顧客ニーズに応えるため、新商品・新サービスを企画開発。上期および下期にそれぞれ1件の商品・サービスリリースを計画。



情報通信事業戦略 ⑤ 環境関連商品

— 電力小売サービス・LED照明・業務用エアコン —

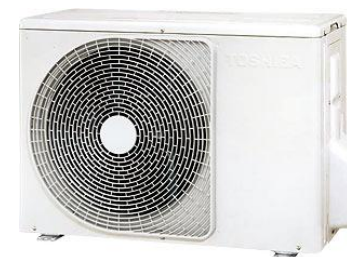
(1) 電力小売サービス

- 合併会社で展開する電力小売サービス「ハルエネでんき」を継続強化。合併先の販売ノウハウを活用しながら、新規営業開拓を実施。



(2) LED照明・業務用エアコン

- 「ハルエネでんき」導入顧客へLED照明や業務用エアコンを積み上げ、顧客あたり売上の向上を図る

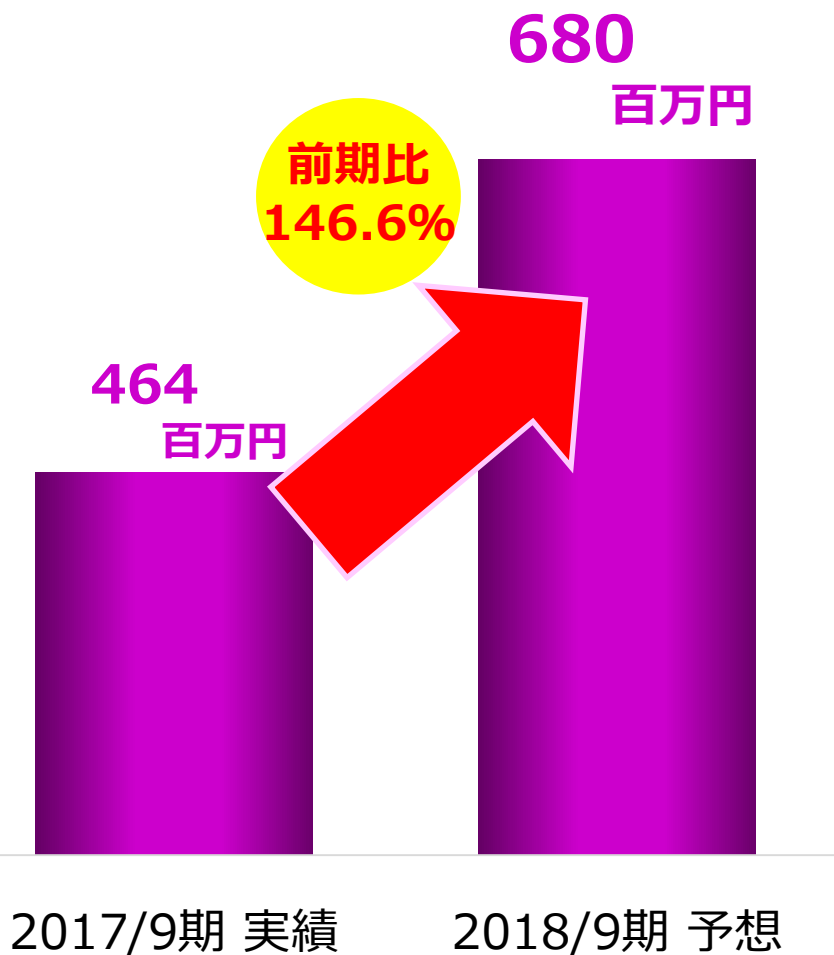


RECOMM

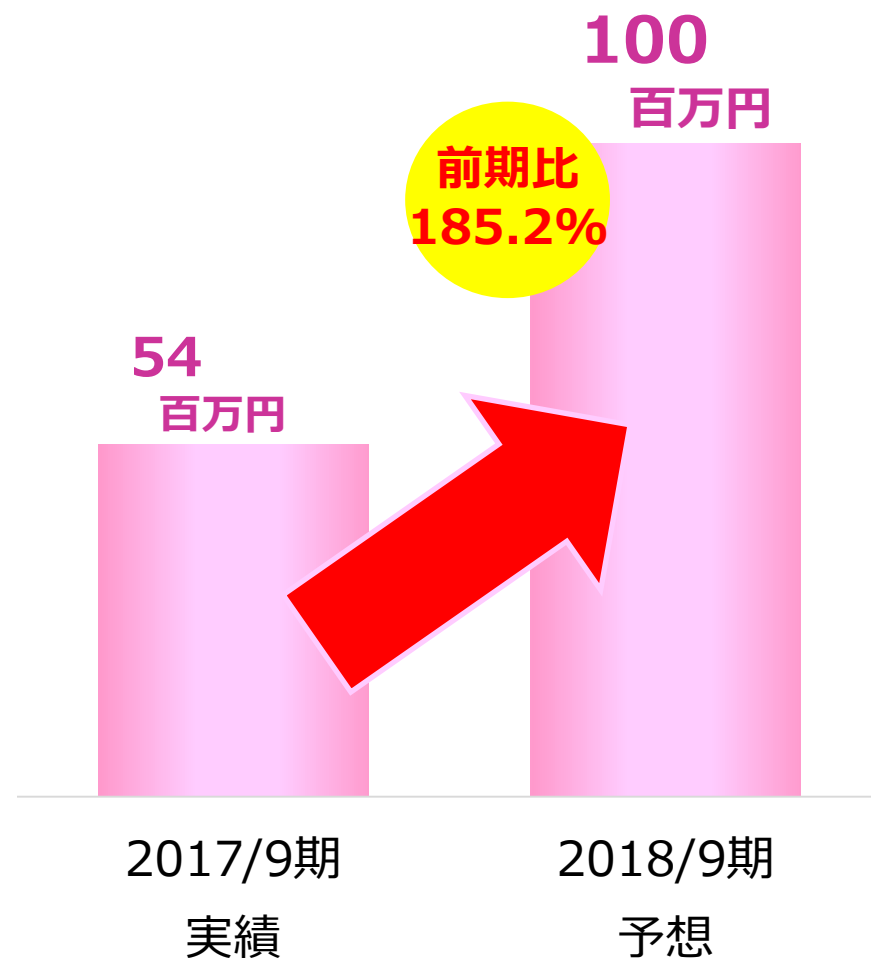
2018年9月期 通期業績予想

BPO事業

売上高

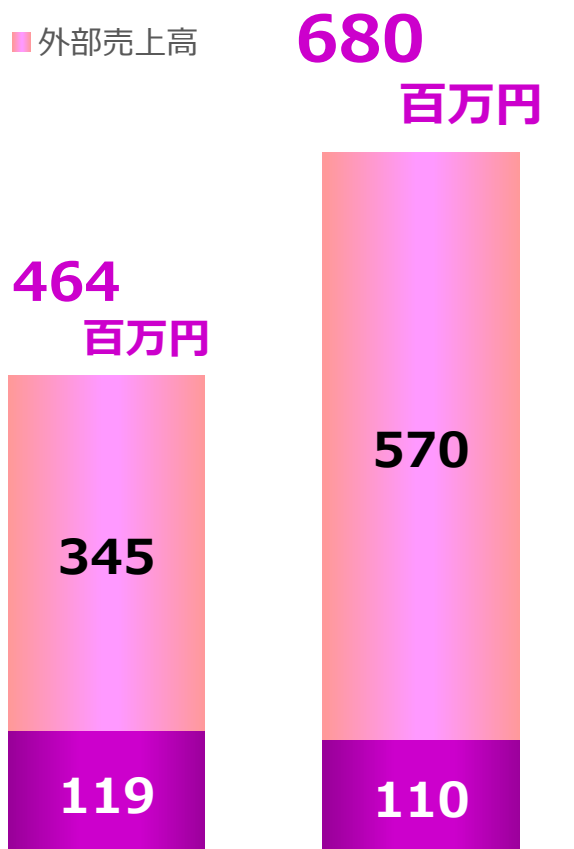


セグメント利益



BPO事業戦略

■ 内部売上高
■ 外部売上高



2017/9期 実績

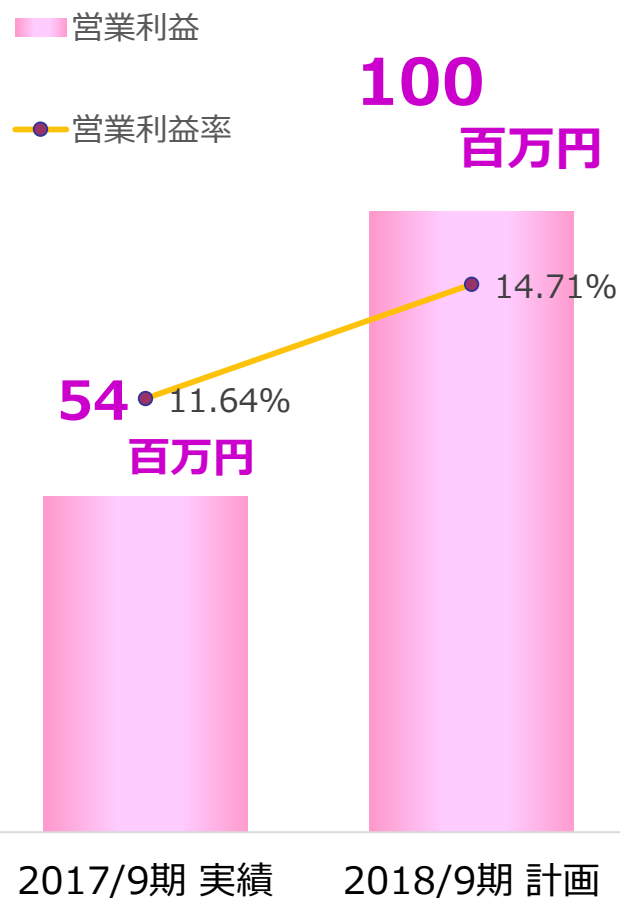
2018/9期 計画

(1) 営業強化

- 営業社員の増員により、新規案件の対応量を増やすとともに、既存営業社員を大口商談にシフトさせることで、営業生産性の向上を図り、売上拡大を図る。
- 新しい売上獲得手法として、官公庁入札案件の獲得に取り組む。

BPO事業戦略

(2) 生産性向上



- 前々期に導入したアメーバ経営の手法をさらに深化させることにより、業務品質と生産性を向上させる。
- IT投資やAI-OCRの導入による業務の自動化推進により、業務処理時間の短縮を図り、1人あたりの売上の拡大を目指す。
- 顧客満足度向上により、既存顧客からの追加業務の拡大を図る。

RECOMM

2018年9月期 通期業績予想

海外法人事業

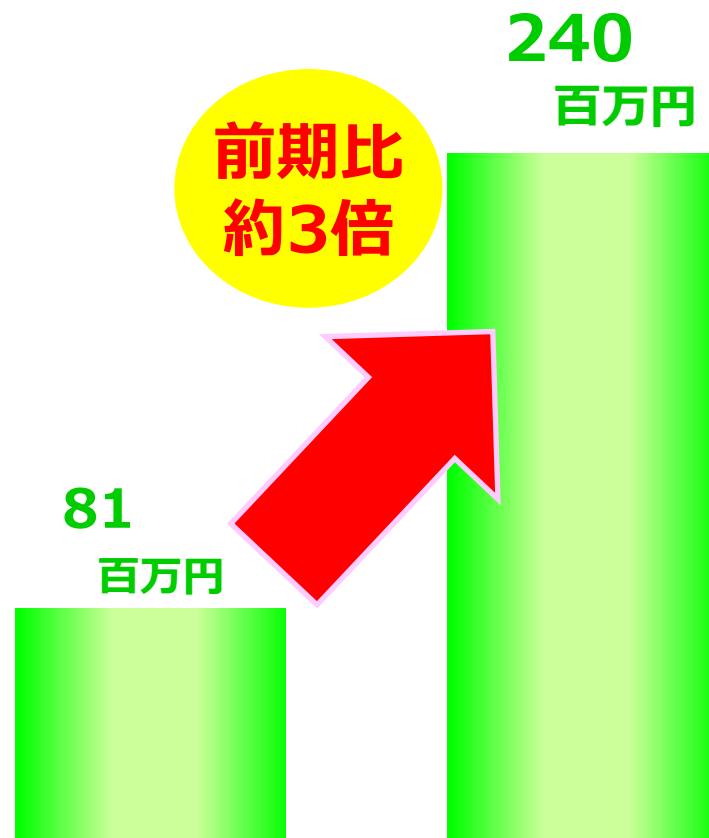
売上高



2017/9期 実績

2018/9期 予想

セグメント利益



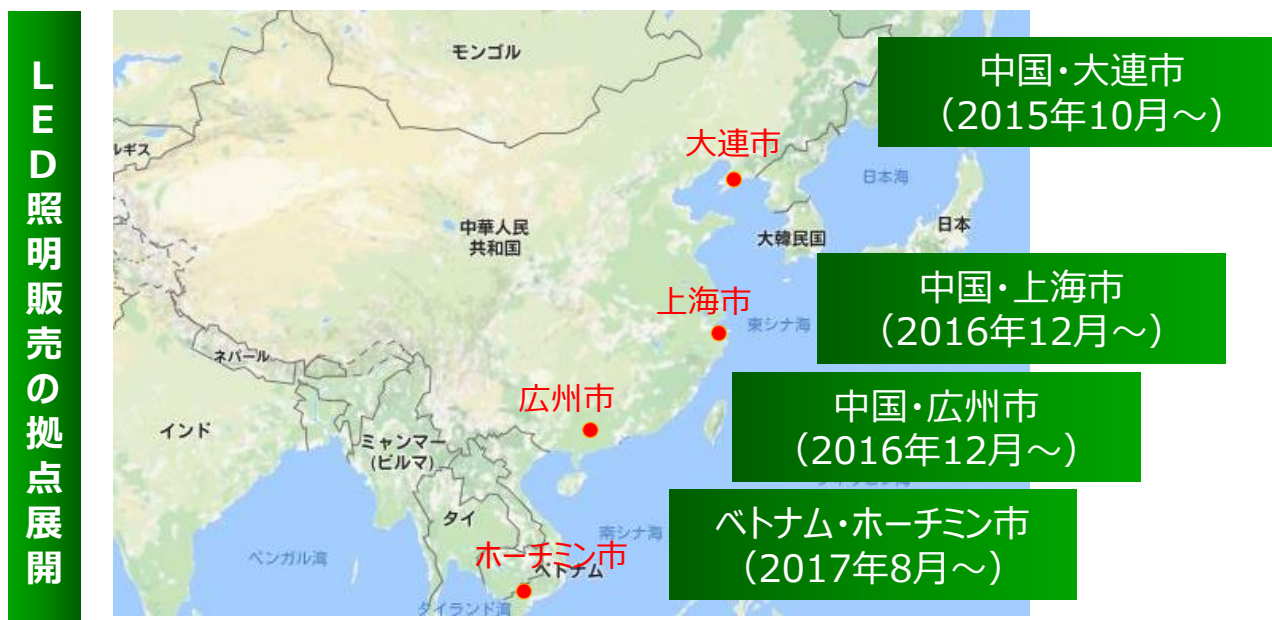
2017/9期 実績

2018/9期 予想

海外法人事業戦略

(1) 営業拠点拡大

- 中国では、今期中に大連市・上海市・広州市に続く4拠点目の開設を計画。
- ベトナムでは、上期中に2拠点目として、ハノイ市での拠点開設を計画。



海外法人事業戦略

(2) ミャンマー・ヤンゴン市営業開始 (3か国目の展開開始)

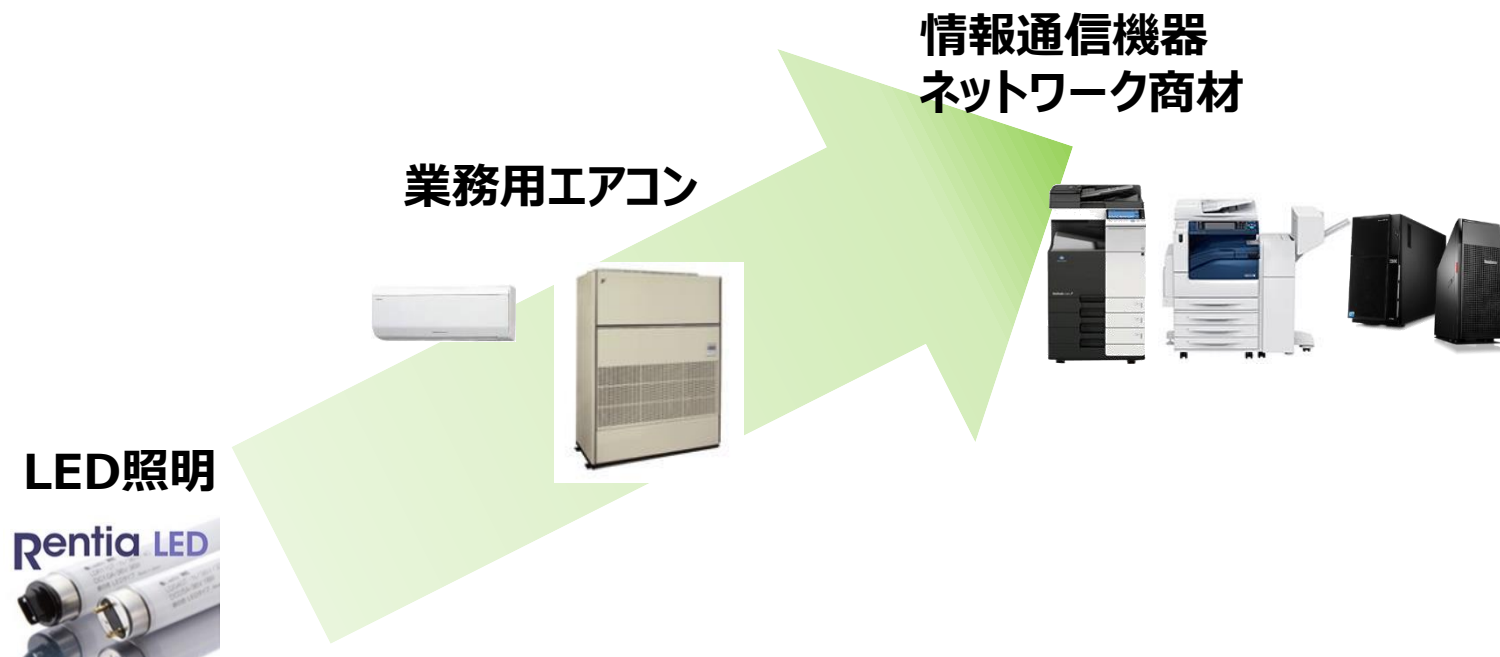
- BPO拠点として進出済みのミャンマー・ヤンゴン市において、現地企業とのアライアンスにより、LED照明販売事業を2017年11月から開始。
- 初期コスト負担のない独自のレンタル販売スキームにより、競争優位性を持って、早期に同国内の販売シェアを獲得する。
- 海外法人事業としては初の現地ローカル企業を主要な対象としたビジネスを開始。



海外法人事業戦略

(3) 商材・サービスのラインナップ拡大

- 既存顧客に対して、業務用エアコン等の空調機器、情報通信機器等のアップセルを行うことにより、顧客あたり売上の拡大を図る。

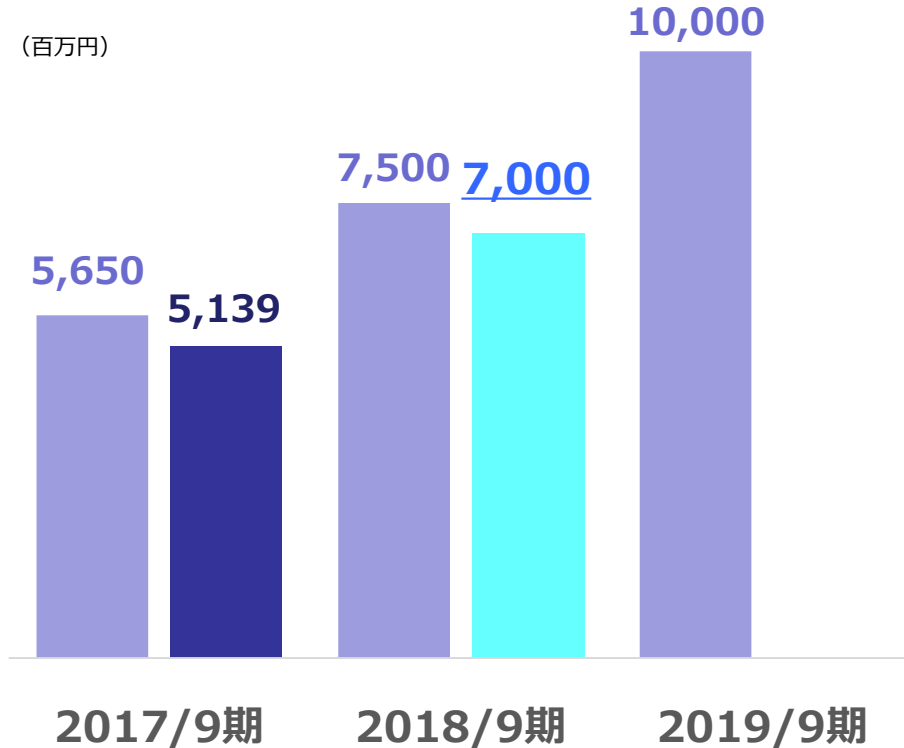


- 事業別戦略の実行により、2018年9月期は中期経営計画2年目の営業利益計画通りの業績を見込む。
- 中期経営計画の中で最も利益成長率が高い2年目の計画達成が、最終年度の計画達成に向けた重要なポイント。

売上高計画

■ 中期経営計画 ■ 実績 ■ 今期予想

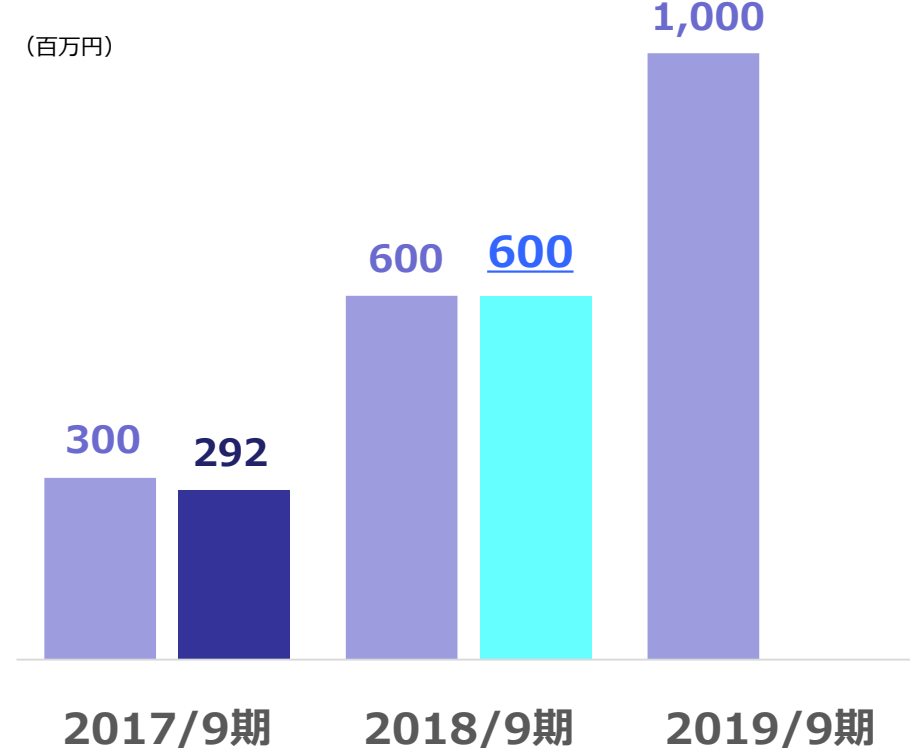
(百万円)



営業利益計画

■ 中期経営計画 ■ 実績 ■ 今期予想

(百万円)



経営ビジョン

A & A 1 1 1 +

(Action & Achievement 「行動、そして達成」)

- 株主にとって投資リターン「No.1」
- 顧客にとって「オンリー 1」
- 業界で質量共に「No.1」
- 従業員にとって最も魅力的な
「Best 1」企業グループ

中期経営計画主要指標

(2017年9月期～2019年9月期)

- ◆ 営業利益10億円（2019年度）の達成
= 3年間で利益約 8 倍を達成
- ◆ オフィスインフラ商材導入率100%の達成
- ◆ 営業マン1人あたり売上
業界No.1の達成（2019年度末）

2019年度に中期経営計画を達成することにより
A & A 1 1 1 + を実現！

- 本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しです。これらは、現在入手可能な情報を基に当社経営陣が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- 本資料は、株主・投資家等の皆様に当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- 情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるか等について一切保証するものではありません。また、掲載された情報またはその誤りについて、その理由の如何に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関する御問い合わせ

レカム株式会社 取締役執行役員CFO 兼 経営管理本部長 砥綿 正博
Email : ir@recomm.co.jp URL : <http://www.recomm.co.jp>

会社名	: レカム株式会社
代表者	: 代表取締役社長 兼 グループCEO 伊藤 秀博
設立	: 1994年9月30日
上場日	: 2004年5月26日 (JASDAQ市場スタンダード: 3323)
資本金	: 1,011百万円 (2017年9月30日現在)
発行済株式数	: 60,116,900株 (2017年9月30日現在)
従業員数	: 連結287名 (2017年10月31日現在)



グループ会社

【日本国内】

- レカムジャパン株式会社
- オーパス株式会社
- レカムエナジーパートナー株式会社
- レカムBPO株式会社
- ヴィーナステックジャパン株式会社
- 株式会社コスモ情報機器

【中華人民共和国】

- ③レカムビジネスソリューションズ（大連） 株式有限公司
- ④レカムビジネスソリューションズ（長春） 有限公司
- ⑤レカムビジネスソリューションズ（上海） 有限公司

【ミャンマー連邦共和国】

- ⑥ミャンマーレカム株式会社

【ベトナム共和国】

- ⑦Vietnam Recomm co.,ltd

1994	<ul style="list-style-type: none"> 業界の常識を覆す営業のフランチャイズを展開する会社として設立
1995	<ul style="list-style-type: none"> フランチャイズ加盟店 1 号店開業
2003	<ul style="list-style-type: none"> 中国・遼寧省大連市に大連レカム通信設備有限公司（現：レカムビジネスソリューションズ（大連）有限公司）を設立し、BPO事業を開始
2004	<ul style="list-style-type: none"> 大阪証券取引所『ヘラクレス』（現：東京証券取引所「JASDAQ」）に株式を上場
2012	<ul style="list-style-type: none"> 中国・吉林省長春市に長春レカムBPOサービス有限公司（現：レカムビジネスソリューションズ（長春）有限公司）を設立し、BPO事業を拡大
2014	<ul style="list-style-type: none"> M&Aによりニューウェーブビジネスソリューションズ株式会社ならびに大連新涛服務有限会社を連結子会社化し、BPO事業を拡大（2015年に吸収合併） M&AによりH J オフショアサービス株式会社ならびに大連求界奥信服務有限公司を連結子会社化し、BPO事業を拡大（2015年に吸収合併） ミャンマー共和国・ヤンゴン市に第3 BPOセンターとして、「ミャンマーレカム株式会社」を設立
2015	<ul style="list-style-type: none"> 合併により、ヴィーナステックジャパン株式会社を設立。セキュリティ商品の卸売り事業に参入 自社ブランド光回線サービス「Ret'sひかり」をリリース M&Aにより株式会社コスモ情報機器を連結子会社化し、情報通信事業を拡大
2016	<ul style="list-style-type: none"> 邦英株式会社よりオフィス家具販売事業を承継 人工知能OCRを用いた画像認識サービスを展開するAI inside株式会社と資本業務提携 大連レカム通信設備有限公司がレカムビジネスソリューションズ(大連)有限公司に社名変更。同時に上海支店を開設 株式会社光通信との合併により、「レカムエナジーパートナー株式会社」を設立し、新電力の小売り販売事業に参入 株式会社エフティグループと海外でのLED照明等の環境関連商品販売事業の協業などに関する資本業務提携契約を締結 上海茂麓貿易（香港）有限公司と中国事業の協業に関する資本業務提携契約を締結 レカムビジネスソリューションズ(上海)有限公司を連結子会社化
2017	<ul style="list-style-type: none"> 新設分割により持株会社体制への移行 レカムビジネスソリューションズ（大連）有限公司が組織形態を株式会社に変更し、レカムビジネスソリューションズ（大連）株式有限公司に社名変更 ベトナム共和国・ホーチミン市にLED照明販売事業の拠点として「Vietnam Recomm co.,ltd」を設立

